

2011年度
事業報告書

自 2011年 9月29日

至 2012年 3月31日

一般財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構

はじめに

当法人は 2011 年 9 月 29 日、一般財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構へ移行するとともに、関西広域機構の実施事業を一部継承し新たなスタートを切った。新法人としての事業計画を定め、関西地域に係る地域振興事業と大阪湾ベイエリアの開発に係る調査研究等の事業を着実に実施しているところである。

2011 年度の関西そして日本は、東日本大震災を抜きに語ることはできない。観光においては、風評被害によって海外からの観光客が大きく落ち込み、精神的なダメージからの回復も大きな課題となった。

このような中、当法人は、関西への観光客を呼び戻すために、観光プロモーションの実施と、冊子やウェブなどを利用した情報発信に努めるとともに、関西の魅力を海外に発信していただけるように特派員向けのプレストアールも開催した。また、「関西元気文化圏」活動についても、関西地域の魅力を内外にしっかりと発信し、関西から日本を元気にする取組みを重ねてきた。さらに、大阪湾ベイエリアの事業では、震災による関西経済への影響や日本経済の復興と関西の再生をテーマに、講演会や研究会を開催するなど、関西における大阪湾ベイエリアが果たすべき役割について検討を進めた。

本事業報告は、一般財団法人として行った 2011 年度（2011 年 9 月 29 日より 2012 年 3 月 31 日まで）の事業を報告するものである。

I 管理運営活動

1 理事会・評議員会等

(1) 理事会

- ・第 1 回臨時理事会 2011 年 10 月 24 日（月） 於 リーガロイヤルNCB
 - 第 1 号議案：関西広域機構からの寄附受入の承認の件
 - 第 2 号議案：2011 年度事業計画書（案）の承認の件
 - 第 3 号議案：2011 年度収支予算書（案）の承認の件
 - 第 4 号議案：会費納入の免除の承認の件
 - 第 5 号議案：事務所移転の承認の件
- ・第 1 回理事会 2011 年 11 月 18 日（金） 於 リーガロイヤルNCB
 - 第 1 号議案：平成 23 年度事業報告書（案）の承認の件
 - 第 2 号議案：平成 23 年度計算書類等（案）の承認の件
 - 第 3 号議案：評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の承認の件
- ・第 2 回理事会 2012 年 3 月 5 日（月） 於 リーガロイヤルNCB
 - 第 1 号議案：2012 年度事業計画書（案）の承認の件
 - 第 2 号議案：2012 年度収支予算書（案）の承認の件

(2) 評議員会

- ・第1回評議員会 2011年12月12日（月） 於 リーガロイヤルNCB
 第1号議案：評議員会運営規程の承認の件
- 第2号議案：評議員会議長の選任の件
- 第3号議案：評議員の退任及び選任の件
- 第4号議案：平成23年度計算書類等（案）の承認の件
- 第5号議案：役員等の報酬等に関する規程の承認の件

(3) 運営会議

- ・第1回運営会議 2011年10月28日（金） 於 当法人会議室
- ・第2回運営会議 2012年 2月13日（月） 於 当法人会議室

2 関西広域機構からの寄附金受領

第1回臨時理事会における第1号議案の承認に従い、2011年11月29日に関西広域機構からの寄附金193,639,403円を受領した。

3 事務所移転

第1回臨時理事会における第5号議案の承認に従い、2011年12月26日に当法人の事務所を大阪市北区中之島二丁目2-2 大阪中之島ビル7階 へ移転した。

4 会員登録

関西地域の益々の振興に向けて当法人の一層の発展を図るため、財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構（特例民法法人）及び関西広域機構において、役員や会員としてご協力頂いた企業・団体から、引続きご支援を頂戴できるよう会員組織を整備している。2011年12月からは、これらの企業・団体に対し、書面等により会員登録を依頼してきた。

2012年3月31日現在で、94の企業・団体が当法人の趣旨にご賛同賜り、会員として登録された。会員企業・団体に対しては、事業活動等の情報を定期的にお届けしていく。

II 大阪湾ベイエリアの開発に係る調査研究等事業

1 調査研究事業

(1) 大阪湾ベイエリアの戦略的な将来像を探る研究会

当法人は、新たな産業集積に向けた施策立案に資することを目的として、2010年度に、「大阪湾ベイエリアの戦略的な将来像を探る研究会」を立ち上げた。有識者や国・地方公共団体・経済団体・民間企業の実務者との意見交換を行い、製造業・物流業、創造産業、知識産業、環境・エネルギー産業等に関して、次のとおり研究会ならびに講演会を実施した。また、本研究会の2年度にわたる成果について、「地域に根ざし、頑健でグローバルな産業集積の実現をめざす」と題し、研究会のとりまとめを行った。

① 研究会

<第6回>

日 時	2011年11月7日(木) 15:00~17:30
場 所	当法人会議室
参加者	31名
テーマ	地方公共団体の産業立地の現状と施策
概 要	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府 「関西イノベーション国際戦略総合特区」 ・兵庫県 「企業立地の動向、既存企業の状況」 ・大阪市 「夢洲・咲洲地区における特区申請プロジェクト」 ・神戸市 「神戸医療産業都市」 ・堺市 「地域を支える堺の産業ーその現状と将来」 ・近畿経済産業局 「経済産業政策の課題と対応、経済産業省関連平成23年度第3次補正予算案の概要、立地補助金」 <p>【討議】</p> <p>国際戦略総合特区への期待・効果、バイエリア立地の中小企業や地場産業化した企業の動向など</p>

<第7回>

日 時	2012年2月7日(火) 15:30~18:00
場 所	大阪大学 中之島センター2階 講義室
参加者	35名
テーマ	立地企業からみた大阪湾バイエリアの魅力と課題
概 要	<p>【報告】</p> <p>バイエリア立地企業4社から、バイエリア立地の経緯、立地後の評価、今後の事業展開、関係機関に期待することなどについて報告をうけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立造船株式会社 (大阪市咲洲地区、製造業) ・阪和興業株式会社 (堺市堺浜地区、卸売・物流業) ・アスピオファーマ株式会社 (神戸市ポートアイランド第2期地区、医薬品研究開発) ・大阪ガス株式会社 (大阪市此花地区、ガス供給事業業) <p>【討議】</p> <p>防災対策、インフラ整備、地元企業や地方公共団体との連携方策など</p>

<第8回>

日 時	2012年3月16日（金）14：00～16：00
場 所	大阪大学 中之島センター2階 講義室
参加者	27名
テーマ	バイエリア研究会の研究成果のとりまとめ
概 要	参加各団体から寄せられた提言骨子（素案）への意見と対応について討議し、本研究会の成果としてとりまとめる方向性を整理した。

② 講演会

<第6回>

日 時	2011年10月12日（水）14：00～16：00
場 所	大阪大学 中之島センター7階 セミナー室
参加者	57名
テーマ	東日本大震災からの日本経済の復興と関西の再生
講演者	京都大学大学院 工学研究科 教授 藤井聡氏
概 要	<p>【講演骨子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関西の凋落 ・ 関西再生の方向 ・ 日本の現状と関西に求められるもの ・ 関西再生の障壁 ・ 経済成長の経緯から関西の再生を考える ・ 関西を浮上させる「五方よし」の精神 <p>【質疑応答】</p> <p>空港のアクセス整備の効果、構造改革・規制緩和の問題、TPPの問題など</p>

注) 講演会については当法人ウェブサイトに掲載情報を掲示し一般市民の参加を募った。

2 「なぎさ海道」推進事業

(1) 「なぎさ海道」推進会議の運営

- ① 幹 事 会 2012年1月23日（月）（書面開催）
- ② 代表委員会 2012年2月2日（木）（書面開催）
- ③ 総 会 2012年3月8日（木）

報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年度事業報告 ・ 一般財団法人への移行について ・ 平成23年度事業報告（中間報告）
講 演	<p>テーマ：環境考古学からみた「白砂青松」 ～「なぎさ海道」の楽しみ方～</p> <p>講演者：立命館大学歴史都市防災研究センター教授 高橋学氏</p>
参加者	25名

(2) 「なぎさ海道」シンボルマーク・ロゴマークの商標権の更新

商標権の存続期間が2011年11月2日までのため、10年間の更新ならびに商標権者の名称を一般財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構へ変更するなどの諸手続きを行った。



(3) 「なぎさ海道」資源の登録

登録資源については、追加・削除・修正などについて、関係団体へ照会した内容を取りまとめ、幹事会において承諾を得た。その結果、17件の追加登録を行い、8件を抹消し登録資源は599ヶ所となった。

(4) 「なぎさ海道」ウォークの実施

多くの人々に大阪湾ベイエリアの魅力を再認識してもらい、「なぎさ海道」の普及を図るため、地元自治体やNPO、電鉄会社等と連携して、登録資源と地域の名所をめぐる「なぎさ海道」ウォークを実施した。

今年度は、46回の「なぎさ海道」ウォークが実施され、1万3千名を超える参加者があった。

① JR西日本

JR西日本の協力を得て、自治体、NPO等の主催により「なぎさ海道」ウォークを実施し、チラシ、ポスターになぎさ海道のシンボルマークを掲載した。

② 南海電鉄、阪神電車、山陽電車

南海・阪神・近鉄合同主催のTRYあぐるウォーク並びに5私鉄（阪急・阪神・南海・京阪・近鉄）合同主催のリレーウォーク、南海、阪神、山陽の各電鉄主催の臨海部を歩くハイキングを後援し、案内などに「なぎさ海道」シンボルマークを掲載した。

(5) 「なぎさ海道」の情報発信

当法人のウェブサイト上に、「なぎさ海道」に関するウォーク情報、イベントの案内などの掲載や、登録資源の追加・修正を行うとともに、広報イベント等でパネル展示やパンフレットの配布を実施した。

また、今年度は一般財団法人への移行にあわせ、「なぎさ海道」PR用のパンフレット及びパネルをリニューアルした。パンフレットについては、「～海辺で楽しむ約600のスポット！『なぎさ海道』攻略ガイドブック～」と題し、一般市民の方々に広く周知できるツールとして工夫した。

3 広報事業

(1) 広報誌「O-BAY」の発行

大阪湾ベイエリアに関する一層の理解を得るため、当法人のウェブサイト上で広報誌「O-BAY」の第46号（秋号）及び第47号（春号）を掲載し、当法人の活動内容を中心に、社会基盤及び都市基盤整備に係わる調査研究事業及び「なぎさ海道」推進事業についての総合的な情報を発信した。

(2) ウェブサイトの情報更新

大阪湾ベイエリアの開発整備や当法人の活動に関する総合的な情報を提供するため、ウェブサイト上で、事業計画・計算書類などの情報開示をタイムリーに行うとともに、広く一般市民が参加できるよう講演会・視察会などの予定を掲示した。

(3) イベントの開催・参加

- ① 国際シンポジウム「広域関西圏：未来へのチャンス～自立した広域関西圏づくり戦略を探る」の共催

日時	2011年11月28日（月）14：00～17：00
場所	大阪市立大学 文化交流センターホール
主催	一般財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構、大阪ガス株式会社、 大阪市立大学創造都市研究科、一般財団法人計量計画研究所、 株式会社地域計画建築研究所
参加者	76名
内容	・ 基調講演「創造的な広域圏の統治」 ドルトムント大学名誉教授 クラウス・クンツマン氏 ・ パネル・ディスカッション「広域関西圏の未来 日－欧－米の比較」 コーディネーター 株式会社地域計画建築研究所社長 杉原五郎氏 パネラー 京都府立大学教授 青山公三氏 兵庫県立大学教授 加藤恵正氏 大阪市立大学大学院准教授 瀬田史彦氏 ドルトムント大学名誉教授 クラウス・クンツマン氏

- ② 「湾展」への参加

実施時期	2011年10月29日（土）～30日（日）
場所	天保山ステージ エコアートフェスタ大阪2011会場内
主催	大阪湾再生推進会議
テーマ	大阪湾の生き物と環境
PR内容	「なぎさ海道」パネルの展示、パンフレットの配布

③ 第8回「ほっといたらあかんやん！大阪湾フォーラム」への参加

日 時	2012年3月4日（日）10:00～17:00
場 所	神戸市立須磨海浜水族園
主 催	大阪湾見守りネットなど
参加者	約250名
テーマ	SMAPro ～さあ須磨から未来に発信～ (中学生・高校生・大学生による大阪湾での活動報告)
PR内容	「なぎさ海道」に関するグッズ、パンフレットの配布

(4) 視察会・講演会等

① 視察会「うめきた～グランフロント大阪～」

日 時	2012年2月21日（火）13:30～15:30
場 所	梅田スカイビルタワーイースト6階「グランフロント大阪」PRセンター、 大阪ステーションシティ11階 「風の広場」
参加者	27名
概 要	2013年春オープン予定のJR大阪駅北側の再開発地区に関する説明及び視察 <ul style="list-style-type: none"> ・「グランフロント大阪」プロジェクト紹介 三菱地所株式会社プロジェクト推進室長 山口修一氏 ・「大阪駅周辺地区」の概要について 大阪市計画調整局企画振興部うめきた整備担当係長 柴山敬氏 ・「ナレッジキャピタル」について 株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント プロジェクトマネージャー 棚倉 進氏

② 記念講演会

当法人は2011年12月25日に設立20周年を迎えた。これを記念して次のとおり講演会を開催するとともに、講演会終了後に意見交換のため懇親会を行った。

日 時	2012年3月29日（木）15:30～17:30
場 所	リーガロイヤルNCB 3階 花の間
参加者	105名
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人の活動について 常務理事・事務局長 安竹素之 ・広域連合～設立後1年を経過して 関西広域連合本部事務局長 中塚則男氏 ・都市間競争に勝ち抜け！大阪湾バイエリア 公立大学法人大阪府立大学 21世紀科学研究機構教授 橋爪紳也氏

注) 上記視察会・講演会の開催情報は当法人ウェブサイトに掲示し一般市民の参加を募った。

③ 情報交換会

中国遼寧省沿海開発建設訪日代表团と下記のとおり情報交換会を行った。遼寧省では渤海と黄海に面した5箇所を重点開発地区として整備しており、2006年度に続き2度目の情報交換会となった。

日 時	2012年3月27日（木）15:00～16:00
場 所	大阪中之島ビル 会議室
訪問団	団長 遼寧省発展と改革委員会 副主任 周喜鼎氏 他 計7名
訪問目的	大阪湾ベイエリア、瀬戸内海など阪神工業地帯の地域における開発事例と環境保護についての情報収集
内 容	・大阪湾ベイエリアについての概要説明及び神戸医療産業都市構想、関西イノベーション国際戦略総合特区、堺浜などにおける最近の動向について説明 ・兵庫県、神戸市、大阪府、大阪市、堺市から入手した資料の提供

III 関西地域に係る地域振興事業

1 国際観光事業

(1) マーケティングの推進

① KPOレポートの情報提供

当法人が、ソウル・台北・香港・北京に設置した関西プロモーションオフィス（KPO）は、主要な訪日ツアー商品や現地の訪日旅行ニーズ等の調査を行っており、その結果や分析を4半期ごとに「KPOレポート」として、関係府県市の観光担当課、経済団体、インバウンド関係企業など約80カ所へ配信した。

今年度は特に、東日本大震災による観光面での影響について調査を行い、定期レポートで最新情報を掲載し、インバウンド関係先の政策立案に役立てていただいた。

② KPO以外の海外ネットワークの活用

日本政府観光局（JNTO）の市場別個別相談会に参加し、市場動向の把握に努めた。

(2) 商品造成促進

① 観光情報の発信の充実

i) 観光ウェブサイトの充実

関西広域機構の国際観光事業では、観光情報発信の専用サイト「ようこそ！関西」を独自に維持管理してきた。新法人への移行ならびに当法人のウェブサイト「Kansai Window」の更新・変更（後述）にあわせ、「ようこそ！関西」の重要コンテンツは「Kansai Window」トップページの上部に組み込み、「Kansai Window」に1本化した。

これに伴い、国際観光事業が独自に発信していたメールマガジンは新たにKTP（Kansai Tourism Promotion Topics）と名付け、後述する「KIPPO NEWS」の一部としてメール配信ならびに「Kansai Window」上に掲出することとした。

ii) 観光プレゼン資料の新規作成

<関西紹介用DVD>

関西の観光情報をPRするDVDを新たに制作した。

タイトル	おもてなし 関西 Omotenashi KANSAI (英語：A Warm Welcome from Kansai)
内 容	日本における KANSAI の位置、関空からのアクセス (含 鉄道・バス)、観光名所等見所、宿泊・食事、歴史・文化、ミュージアムなど
時 間	ロングバージョン : 21分 ショートバージョン : 7分 } 2枚入りパッケージ
言 語	日本語、英語、中国語 (繁体字、簡体字)、韓国語、タイ語が選択可能
制作枚数	500 枚

海外での観光プロモーションにおいて積極的に活用するほか、KPOに配備し、現地エージェント向けPRにも使用している。

<関西PRパンフレット、ポスター>

タイトル	おもてなし 関西 Omotenashi KANSAI
内 容	関西各地の魅力、美食、観光名所、ショッピング、エンターテインメント、公共交通機関等の紹介
サイズ・ 頁数等	パンフレット：A4 タテ、8 ページ、フルカラー ポスター : B1 及び B2
制作部数	パンフレット ・英語、中国語 (繁体字)、同 (簡体字) 各 1 万部 ・韓国語、タイ語 各 5 千部 ポスター 90 部 } 合計 4 万部

海外での旅行博やKPOによるPR活動を中心に、関西の魅力を紹介する便利なツールとして積極的に活用するものである。

<ノベルティグッズ>

ファムトリップ、商談会、セミナーやKPO調査等の機会に関西をPRするため、タンブラー及びエコバッグを製作した。いずれも、KANSAI を象徴するモチーフとして、舞妓さんのデザイン画をあしらっている。本デザイン画は、京都嵯峨芸術大学の坂上英彦教授の協力を得て、観光学科の学生によるコンペ作品から選定させていただいた。

	タンブラー	エコバッグ
用 途	ファムトリップ参加者へ粗品、観光プロモーション関係者への手土産 *) 日常的に使用するアイテムのため、使用者ならびにその関係者に対し継続的なPRが可能	旅行博や観光セミナーでの当法人PR資料収納等
個 数	500	2,000

iii) Facebook のサイト開設

インバウンド促進の新たなPRツールとして、観光をはじめ関西の魅力的な情報を紹介するサイトを、SNS最大手のFacebook上に開設した。毎月、数件～10数件の新コンテンツをアップロードし、リーチ数（アクセス件数）を順調に伸ばした。

URL <http://www.facebook.com/visit.kansai>

記事掲載 59件

閲覧者の反応 リーチ数：7,435件 いいね！：350件 話題数：284件

iv) 関西デザイン

国際観光事業では毎年、東南アジア4市場共通の「関西をイメージするデザイン（関西デザイン）」を作成し、ノベルティ、ポスターや広告等に利用しているが、今年度は、京都嵯峨芸術大学の協力を得て作成し（上述）、雑誌広告に掲載した舞妓さんのデザイン画を選定した。

また、新たに、韓国市場に特化した関西デザインに取り組むこととし、「韓国在住の方がイメージする関西」のデザイン画を韓国国内で公募し、24の応募作品から2つを入選作品に選定した。これらの入選作家2名を関西へ招待し関西を実体験いただいた。2012年度にはこの体験を元に改めてデザインを行っていただく計画である。

② 観光セミナー・商談会の開催

関西向け旅行商品の造成や個人旅行の促進を目的に、シンガポール・マレーシア及びタイにおいて、観光セミナー・商談会や旅行博への出展を行った。

i) 観光セミナー・商談会

【関西ダイヤモンドプロモーション】

実施月日	2011年10月7日（金）～14日（金）
場 所	シンガポール市内・クアラルンプール市内
実施概要	・京都・大阪・神戸・堺の四都市を中心に関西での周遊増加を図るため、旅行会社を主な対象とした観光セミナー・商談会、旅行会社・出版社等を訪問するセールスコールやシンガポール高島屋で開催される日本の食と観光のイベント「My Japan Holiday-Japan Travel & Food Fair 2011」への出展等
参加者	○観光セミナー（JNTO推奨の有力エージェント・メディア） ・シンガポール：31社48名 ・マレーシア：29社51名 ○高島屋でのイベント ・関西ブース来場者13,800人（イベント来場者は2万人）
連携先	京阪神堺4市、関西国際空港（株）、（株）ユー・エス・ジェイ、（財）大阪観光コンベンション協会

ii) 旅行博

【Thai International Travel Fair #10】

実施月日	2012年2月23日(木)～26日(日)
場 所	バンコク市内(クイーンシリキットコンベンションセンター)
実施概要	・旅行フェア「Thai International Travel Fair #10」の日本エリアへ、当法人・京阪神堺四都市外客誘致実行委員会・和歌山県・USJが共同でブースを出展
参加者	来ブース者12,770名(総来場者80万人)
連携先	京阪神堺4市、和歌山県、(株)ユー・エス・ジェイ

③ メディアを対象としたファミトリップ等

旅行市場に影響力がある海外のメディア(雑誌、TV、ブロガー等)を招聘し、関西を実際に体験するファミトリップを開催した。また、海外のメディアからの取材要望に対応し、関西を取材する機会を提供した。各メディアを通じ、関西の魅力、震災後も安全・安心な関西をアピールすることにより、関西への集客を図った。

i) 中国

【雑誌】

実施月日	2011年10月8日(土)～14日(金)
招 聘 者	雑誌5社10名(上海3名・北京7名、KPO・JNTOが選定)
実施概要	「西日本広域観光ルート開発事業」として訪日旅行の拡大を促す
取 材 先	奈良-赤穂市(坂越)・播磨灘の祭り-尾道-宮島-広島-博多-太宰府-佐賀・嬉野温泉-有田-長崎-九重-湯布院-別府-大阪
連 携 先	西日本広域観光ルート検討会(関西経済連合会など6経済団体)
備 考	赤穂市・坂越の祭りへの関心が高く、各社ともその紹介記事に多くの紙面を割いていた

実施月日	2011年11月14日(月)～20日(日)
招聘者	北京、上海、広東の雑誌5社10名(企画競争入札により選定)
実施概要	震災後の活動テーマ「健康 KANSAI」の趣旨を踏まえ、癒しが可能な山間部や一般に知られていない温泉などを紹介
取材先	①大阪～徳島～鳥取～兵庫、②中部～三重～京都～大阪、③関空～和歌山～徳島～大阪～京都)の3コース
備 考	○記事・広告掲載 新旅行 2012年2月,3月号、遊遍天下 2012年1月,2月号、旅遊天地 2012年1月,2月号、携程自由行2012年2月,3月号、旅遊情報 2012年1月,2-3合併号

実施月日	2012年1月11日（水）～16日（月）
招聘者	月刊誌Eトラベラーズ2名 （新興富裕層向けライフスタイル誌、KPO選定）
取材先	・京都～大阪～有馬温泉～神戸 ・関西の伝統文化を紹介
備考	記事掲載は2012年4月以降

【テレビ】

実施月日	2011年11月29日（火）～12月4日（日）
招聘者	3社10名〔新華社通信、上海教育TV、上海TV局第一材経頻道〕
取材先	白浜-和歌山-奈良公園-京都市内-大阪市内-灘五郷-姫路城-ルミナリエ-舞子公園
備考	各テレビ局と関係強化を図ることができた。新華社通信大阪支局とは2012年度以降も協力の予定。

実施月日	2011年12月16日（金）～21日（水）
招聘者	3社11名〔鳳凰フェニックスTV、天津電視台、遼寧電視台〕
取材先	白浜-和歌山-奈良公園-京都市内-大阪市内-灘五郷-姫路城-ルミナリエ-舞子公園
備考	各テレビ局と関係強化を図ることができた。秀逸な番組製作の最大手鳳凰フェニックスTVとは協力関係の継続が期待できる。

ii) 韓国

実施月日	2011年10月24日（月）～11月5日（土）
実施概要	震災対応の「健康 KANSAI」として実施、都市生活者のソウル女性に料理体験などを提供（和歌山でのジャムづくり等）
招聘者	7名 女性誌：2社4名（Lemon Tree・女性中央） 〔女性FIT（※）層に最人気のクオリティ誌〕 ブロガー：3名（ジャン・ソンミ氏、ハン・ジョンフン氏、ジン・ジュヒ氏）
取材先	①三重～和歌山～大阪 ②福井～滋賀～京都～兵庫
備考	○雑誌記事・広告 ・Lemon Tree・女性中央ともに2012年1月号に掲載 ○ブログ掲出回数： ・ハン・ジョンフン氏：12回 ・ジャン・ソンミ氏：13回

※) FIT: Free Individual Traveler または Foreign Independent Travel

実施月日	2011年12月2日（金）～4日（日）
実施概要	関西国際空港（株）主催・関西経済同友会後援のブロガーファームに協力（旅程作成支援、要所要所でのアテンド等）
招聘者	ブロガー10名
取材先	A・Bコース：京都、Cコース：奈良、Dコース：神戸の4コース
備考	当法人のブロガーファーム経験を提供でき有益であった。

実施月日	2012年3月15日（木）～3月19日（月）
実施概要	冬の関西を一般の韓国人の視点からありのままに発信する取材旅行
招聘者	パワーブロガー2名（キム・ギョンウ氏、パク・ジョンギョ氏）
取材先	福井～京都～大阪（カニ料理、日本酒、舞妓さん、座禅など）
備考	3月27日にブログ掲載

iii) 台湾

実施月日	2011年10月17日（月）～22日（土）
実施概要	健康をテーマにした観光素材を取材
招聘者	大手雑誌・ネットメディア3社4名 〔行遍天下、微微新娘、TRAVELER Luxe〕
取材先	兵庫～鳥取、福井～滋賀～奈良（シーカヤックなど）
備考	・記事は合計20ページ、広告は同8ページが掲載 ・雑誌は自社ウェブサイトにも記事を並行して掲載

iv) タイ

実施月日	2011年10月30日（日）～11月6日（日）
実施概要	日本の伝統工芸をテーマに取材（豆腐工場・刃物職人など）
招聘者	雑誌 Any where 2名 創刊9周年の日本特集で関西の他東北、東京、山梨を取材
取材先	奈良県、和歌山県、堺市
備考	12月号に35ページ掲載

実施月日	2011年11月20日（日）～25日（金）
実施概要	日本向け専門旅行社提供の旅番組取材
招聘者	テレビ Holiday Japan 10名
取材先	福井、京都、滋賀（近江八幡の伝統地区など）
備考	年末年始に旅行番組3本、バラエティ番組2本放映

v) マレーシア

実施月日	2012年1月13日(金)～16日(月)
実施概要	エアアジア提供の旅行番組用取材
招聘者	テレビ Travelog 15名 〔他に業界紙(誌)・オンラインメディア計5社同行〕
取材先	大阪、神戸(USJ他)
備考	2月12日(日)7:30から放映、同行メディアで計14件の報道

実施月日	2012年3月2日(金)～10日(土)
実施概要	LCC利用FITスタイルの格安旅行をテーマに廉価な宿泊施設やお得チケットを紹介
招聘者	簡体字旅行雑誌 Let's Travel 1名
取材先	京都、大阪、神戸、堺(薫主堂他)
備考	2012年5月号掲載予定

vi) 欧米

実施月日	2012年2月25日(土)～3月1日(木)
実施概要	NY～台湾旅行時のストップオーバー用観光素材提供
招聘者	雑誌ネットメディア4社4名(チャイナエアNY支店が選定) 華僑系3社(World Journal Weekly 他)、米系1社
取材先	京都(西陣織・映画村他)、兵庫(灘五郷・有馬温泉他)
備考	帰国翌日にウェブ上で番組発信(神戸編)

vii) その他のファムトリップ

実施月日	2011年11月2日(水)～5日(土)
実施概要	旅行社の会員と社員による京阪神のモニターツアー
参加者	C-Trip社(上海携程国際旅行)11名(同社サイト「Weibo」会員含む)
備考	好評を博し継続要請あり

④ 教育旅行の促進

中国四川省成都市において、現地教育関係者に対して、関西での青少年交流、関西の教育旅行素材を紹介するセミナーを開催した。また、それを受けて、実際に関西の教育施設、学習素材を視察するファムトリップを実施し、関西への教育旅行誘致促進を図った。

i) セミナー

実施日	2011年11月15日(火)～18日(金)
場 所	四川省成都市
参加者	60名(現地の教育委員会、対外友好協会)

ii) ファムトリップ

実施日	2012年3月12日(月)～16日(金)
コース	京都～滋賀～福井～大阪
参加者	10名(四川省成都地区小中学校長6名、メディア1名、対外友好協会3名)

⑤ ユースツーリズムの推進

台湾の有力観光系2大学(国立高雄餐旅大学、国立暨南国際大学)から、24名の教授及び学生を招き、和歌山大学、阪南大学の観光学部の学生と交流する機会を提供した。交流会では、町づくりについて学生の考え・アイデアが発表され、活発な意見交換・議論が行われた。(2011年12月16日(金)～19日(月)実施)

⑥ ファムトリップ等のフォローアップ

震災後の海外の動向、実施したファムトリップ等プロモーション活動のフォロー、及び、次年度以降の活動のニーズをヒアリングするため、海外のエージェント、メディア等を訪問した。

<中国>

実施日	2012年3月11日(日)～16日(金)
訪問先	北京 旅行社4社(中青旅日韓センター、中国婦女旅行社、中国旅行社、中国国際旅行社)、メディア2社(Eトラベラーズ、新旅行) 上海 旅行社6社(上海国旅国際旅行社、上海中国青年旅行社、上海航空国際旅游、上海春秋国際旅行社、上海携程国際旅行社、上海職工国際旅行社)、メディア4社(携程自由行、旅遊天地、私家地理、COSTAクルーズ)、旅遊局
内容	当年度の各種ファムトリップで招聘したメディア・旅行会社を中心に市場と営業活動の近況をヒアリング調査

<韓国>

実施日	2012年2月15日(水)～22日(水)
訪問先	旅行社6社(ハナツアー、旅行博士、モードツアー、ハンジン観光、エンタビ、ネイル旅行) メディア6社(女性中央、レモンツリー、レディーキョンヤン、トレヴィイ、AB-ROAD、国際新聞) ブロガー2名(ジャン・ソンミ氏、キム・ギョンウ氏) デザイナー2名(パク・ジスク氏、ソン・ザミン氏)
内容	2011年度事業のエージェントファム及びメディアファムのフォロー、ブロガーとの事業打合せ、「関西デザイン」入選のデザイナーとの面会及び韓国市場状況把握を実施。 日本大使公邸で開催されたSAKEセミナーにも出席。

<香港>

実施日	2011年12月7日(水)～10日(土)
訪問先	旅行社5社(Wincastle、Travel Expert、Jetour Holiday、康泰旅行社、EGL) メディア3社(Needs、Hong Kong walker、Weekend weekly)
内容	2011年度エージェントファム、メディアファム参加者へのフォロー、2012年度計画のニーズのヒアリングを実施

2 文化振興事業

関西の歴史・文化をはじめとするポテンシャルは、地域の大きな魅力となっており、国際観光を推進するための有力な資源でもある。個性豊かで質の高い文化の発信及び文化力の向上を目指す広域的な文化振興事業を実施した。

(1) 関西文化の日

関西圏域内外の方々に広く美術作品や学術資料に接する機会を提供するため、関西一円の美術館・博物館等の文化施設のご協力により、11月に入館料を無料とする「関西文化の日」を実施した。(対象は原則として常設展)

無料開放される文化施設の情報は、これまでも「関西文化の日」専用サイト「関西文化.com」上で紹介しているが、今年度は新たに、ポスター掲出などスルッとKANSAIと共同で告知を行い、より多くの一般市民が来館されるようPRに努めた。

本年度は454の文化施設が参加し、のべ34万人の方々が各施設に入館され、「関西文化の”秋”」を楽しんで頂いた。

<実施結果>

参加施設	454施設
総入館者	約34万人
サイトアクセス	約177万件(2011年暦年)
広報活動	①プレスリリース ・2011年10月7日、大阪経済記者クラブで資料配布を行うとともに、報道提供資料を当法人ウェブサイトに掲示開始 ・朝日新聞、日刊工業新聞、徳島新聞、日本海新聞で報道 ②ポスター及びパンフレット ・ポスター1万1千枚、パンフレット22万部を、参加施設や自治体施設の他、交通事業者の協力を得て、駅や案内所でも掲出・配布した ③その他 ・情報誌等に対し、当法人より情報提供を行った ・記事掲載誌：

	情 報 誌：関西ウォーカー他 計 7 誌 フリーペーパー：スルッと KANSAI 遊びマップ他 計 9 誌 広 報 誌：大阪市政だより他 計 7 誌 インターネット：おでかけネット（JR西日本）他 計 22 件
--	--

(2) 関西元気文化圏

「文化」で関西から日本を元気にすることをめざす「関西元気文化圏」構想を推進する「関西元気文化圏推進協議会」の事務局として、関西から日本を元気にすることに貢献した人々への「関西元気文化圏賞」の贈呈、文化に関連する様々な活動や事業を主催する方々に共通のロゴマーク使用を呼びかけるなど、関西の文化力を高める取組みを広く積極的にアピールした。

＜「関西元気文化圏賞」の贈呈＞ [文化庁芸術祭賞（関西部門）贈呈式と合同開催]

開 催 日	2012年1月23日（月）
場 所	シェラトン都ホテル大阪
受 賞 者	大 賞：INAC神戸レオネッサ 特 別 賞：公益財団法人 山本能楽堂 ニューハ ^o ラー賞：大阪ステーションシティ スーパーコンピュータ「京」の開発チーム 尾野真千子 氏 万城目学 氏
来場者数	約 200 名（文化庁芸術祭賞関係者 70 名を含む）
報道結果	新 聞：読売新聞、産経新聞、毎日新聞、朝日新聞、京都新聞、 大阪日日新聞、スポニチ テレビ：NHK「ニューテラス関西」、テレビ大阪「NEWS Biz」、 サンテレビ「ニュースシグナル」、K-CAT「eo 光ニュース K」 インターネット：朝日新聞デジタル、Yomiuri on Line、ぴあ、 NHK大阪府のニュース、スポニチアネックス、 大阪 21 世紀協会文化力ニュース、

(3) ウェブサイト「Art+Culture」による情報発信

関西広域機構の文化振興事業では、芸術文化情報発信の専用サイト「Art&Culture」を独自に維持管理してきたが、新法人への移行ならびにウェブサイト「Kansai Window」更新・変更にあわせ、「Kansai Window」内に「Art+Culture」を移設し、関西各地のアートの新しい胎動を現地取材しレポートする「現場レポート」、関西の芸術文化について見聞き感じたことを語るブログ記事「Staff View」等の主要コンテンツを移した。また、関西各地で開催される芸術文化のイベント情報等を「Kansai Window」トップページの「関西イベント情報」に随時掲載した。

・「現場レポート」

淡路島取材し、日・英の2言語で記事を掲載した。2府8県取材する連載記事としては本レポートが最後となった。

テーマ	島まるごとミュージアムにむけて～淡路島アートセンターの挑戦～
執筆者	NPO法人淡路島アートセンター理事 やまぐちくにこ氏
取材先	淡路島アートセンター、ノマド村、五斗長ウォーキングミュージアム、淡路島美術大学、洲本市民工房、山勝工房、ここから村、淡路大磯アート山
概要	兵庫県と徳島県をつなぐ「国生みの島・淡路島」の新たな動きを取り上げ、淡路の魅力と地域資源を活かしたアート活動をその背景とともに紹介

3 情報発信事業

(1) ウェブサイト「Kansai Window」による情報発信

当法人のウェブサイト「Kansai Window」を通じ、観光・イベント情報、歴史・文化、経済情勢・産業活動、統計データ等、関西の様々な情報を、日本語・英語・中国語(簡体字、繁体字)・韓国語で発信した。

① ページビュー数

合計で約 34.4 万件となった。(2011 年 4 月～2012 年 3 月では約 77 万件)

言語及びコンテンツ別の内訳は下表のとおりである。

【ページビュー数(言語別)】 [万件]

日本語	英語	中国語 (簡体字)	中国語 (繁体字)	韓国語
17.8	4.4	1.4	7.7	3.1
44.7	8.3	2.1	16.7	5.2

注) 上段: 2011 年 10 月～2012 年 3 月、下段: 2011 年 4 月～2012 年 3 月

【ページビュー数(コンテンツ別)】 [万件]

関西あらかると	イベント情報	スポットガイド	観光	KIPPO NEWS
7.1	3.6	4.3	3.3	2.0
13.7	9.3	9.1	7.1	3.5

注) 上段: 2011 年 10 月～2012 年 3 月、下段: 2011 年 4 月～2012 年 3 月

② サイトの更新・変更

「Kansai Window」は 2010 年 3 月にリニューアルを行ったが、維持・管理業務を外部に委託してきたため、自らシステム・コンテンツの変更・改修を行うことが容易ではない、維持費や変更に係る費用が高い等の課題があった。また、ページビュー数の減少や外国語サイトが活発に利用されていない等の問題も明らかになっていた。

こうした状況・課題に対応するため、次のとおり、システム管理体制の変更やサイトのデザイン・レイアウト変更を実施した。

i) システム管理体制の変更

当法人自らが直接サイトを維持・管理する体制に変更し、システム・コンテンツの適時変更及び維持・管理コストの低減を図った。なお、ウェブ関連の最新技術など、高度な専門性が必要な部分等は外部委託を活用するが、委託先を変更し固定費を低減した。

ii) フロントページのデザイン・レイアウト変更

「Kansai Window」の注目度向上、ページビュー数回復、サイトの利用促進を図るため、トップページのデザインを一新するとともに、レイアウトの変更を行った。コンテンツの整理、セクションボタンの入替、セクションタイトルの変更等により、名実ともに新法人のウェブサイトとして再スタートを切った。

③ コンテンツの充実

i) 「KIPPO NEWS」の発行

月刊のニュースレポート「KIPPO NEWS」をトップページに掲示し、関西のトピックを世界へ発信するとともに、一部のニュースはFM（FMCOCOLO）でも放送した。在京の海外特派員や大使館等約1千箇所へメール配信し各国へのKANSAIのPRに努めた。

なお、「KIPPO NEWS」のリポートのうち、当法人が自ら編集した記事は新たに Kansai Highlight と名付けた。当年度の掲出本数は下表のとおりである。

名称	Kansai Highlight	Kansai Information	Kansai in Focus
概要	当法人編集記事	各地の注目情報（2府8県4政令市提供）	外部寄稿（関西プレスクラブと連携）
本数	29本	19本	6本
	62本	37本	11本

注) 上段：2011年10月～2012年3月、下段：2011年4月～2012年3月

ii) コンテンツの定期更新

関西2府8県4政令市提供の情報を中心に「関西からのお知らせ（What's New）」及び「関西イベント情報」のコンテンツを更新した（約160件）。

なお、「Kansai Window」の管理運営が関西広域機構から当法人へ移行されたことをサイト内各所で明示するとともに、当法人の概要及びお知らせ等掲示ページを新設し、事業計画・収支予算、事業報告・計算書類等の諸情報を開示した。

iii) コンテンツの更新頻度向上

Kansai Highlight や Kansai Information 等のレギュラーコンテンツについては、毎月第3水曜日に一斉更新していたが、更新時期を月初・中旬・月末へ分散し、閲覧者の関心を高め、ページビュー数向上やサイトの利用促進を図った。

(2) 外国特派員プレスツアー等取材支援

首都圏駐在の外国特派員を関西の取材旅行に招聘し、その取材記事を通じて関西の情報を世界各国・地域へ発信する「KIPPO プレスツアー」の通算第 80 回を、三重県において次のとおり開催した。

実施月日	2011 年 10 月 14 日（金）～15 日（土）
テーマ	三重ブランド 伝統の継承
参加者数	11 社・11 名（7 カ国・地域）
実施概要	<ul style="list-style-type: none">・鈴木英敬三重県知事インタビュー 全国最年少知事がエネルギーに語る！三重の魅力・海の宝石「真珠」 世界初養殖真珠誕生の舞台「ミキモト真珠島」 豊かな自然の恵みと職人の技の結集 (真珠養殖の現場 真珠工房「真珠の里」)・太古の昔から続く素潜り漁「海女漁」 海女がくらすまち鳥羽市相差 (「相差海女文化資料館」、「神明神社・石神さん」、「海女小屋」、 「海女文化」継承の取り組み「海の博物館」)
発信記事	新華通信社(中国)、台湾テレビ(台湾)他海外 13 本、日経新聞他国内 5 本、計 18 本を確認
費用対効果	9 倍 <ul style="list-style-type: none">・発信記事広告費換算：10,210 千円（注）・ツアー実施費用：1,133 千円

注) 記者本人からの情報提供等により当法人が換算

「KIPPO プレスツアー」では、記者に対してよりよい第一印象を与えるため、ツアーの冒頭で首長自ら取材地の PR や取材先のブリーフィングを行っていただくこととしている。今回も、鈴木英敬三重県知事ご本人がプレゼンを行い、記者からの質問に活発に応答し、三重県の魅力を熱く語っていただいた。多くの記者がこの姿勢に好感を抱くとともに、三重県の大きなポテンシャルを実感していた。今後も三重県に注目したいという声も聞かれた。

以 上